

17:24 アッシリアの王は、バビロン、クテ、アワ、ハマテ、そしてセファルワイムから人々を連れて来て、イスラエル人の代わりにサマリアの町々に住ませた。こうして、彼らはサマリアを占領して、その町々に住んだ。

17:25 彼らはそこに住み始めたとき、【主】を恐れなかったので、【主】は彼らの中に獅子を送り込まれた。獅子は彼らの何人かを殺した。

17:26 彼らはアッシリアの王に次のように報告した。「あなたがサマリアの町々に移した諸国の民は、この土地の神についての慣わしを知りません。それで、神が彼らのうちに獅子を送り込みました。今、獅子が彼らを殺しています。彼らがこの土地の神についての慣わしを知らないからです。」

17:27 そこで、アッシリアの王は次のように命じた。「おまえたちがそこから捕らえ移した祭司の一人を、そこに連れて行け。行かせて、そこに住ませ、その土地の神についての慣わしを教えさせよ。」

17:28 こうして、サマリアから捕らえ移された祭司の一人が来てベテルに住み、どのようにして【主】を礼拝すべきかを教えた。

17:29 しかし、それぞれの民は、それぞれ自分たちの神々を造り、サマリア人が造った高き所の宮にそれを安置した。それぞれの民は自分が住む町々でそのようにした。

17:30 バビロンの人々はスコテ・ベノテを造り、クテの人々はネルガルを造り、ハマテの人々はアシマを造り、

17:31 アワ人はニブハズとタルタクを造り、セファルワイム人はセファルワイムの神々、



アダラメレクとアナメレクに自分たちの子どもを火で焼いて献げた。

17:32 彼らは【主】を礼拝したが、自分たちの中から高き所の祭司たちを自分たちで任命し、この祭司たちが彼らのために高き所の宮で祭儀を行った。

17:33 彼らは【主】を礼拝しながら、同時に、自分たちが移される前にいた国々の慣わしによって、自分たちの神々にも仕えていた。

主を信じていると言いながら（または自分のように思っている）偶像を持つ人々が、いかに本当の信仰から離れているか…という事実が明らかにされています。

「彼らは【主】を礼拝しながら、同時に、自分たちが移される前にいた国々の慣わしによって、自分たちの神々にも仕えていた。」とありますが、彼らは平気で「自分たちの子どもを火で焼いてささげ」ることまでできたのです。

神と偶像と両方に仕えることはできません。偶像に仕えているなら、それは神に反しているのです。光と闇に共通点がないのと同じです。また神と富に仕えることもできないと主イエスは語られました。神のみを神としましょう。

神以外のものを神のようにして、それに従ったり頼ったり、伺いを立てたりなどということがあると気づいたなら、明確に悔い改めて、もっと純粋に主に従っていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

